







プログラム名	おなじ おなじ	
ねらい	対象の自然物を記憶し、フィールドに出て探したり観察したりする活動を楽しむ。	
使う感覚など	 みる	 きく  はなす  さわる  かぐ  つくる
場所	園庭、身近な自然(樹木、草花、落ち葉のある場所など)	
準備物	布 2 枚(無地のバンダナまたは大きめのハンカチが使いやすい) 布 1 枚(子ども用、扱いが難しい場合は袋や箱でもよい)	
子どもの活動	ポイント	
<p>○3名程度のグループをつくる。</p> <p>○ゲームのやり方、注意点を聞く。</p> <p>○布(子ども用)で自然物を集める袋を作る。</p> <p>○30秒間、自然物をじっくり見る。</p> <p>○同じと思うものを探しに行く。</p> <p>○元の場所に集まり、集めたものを見せ合い、情報交換をする。</p> <p>「同じ形だけど大きさが違うよ」</p> <p>「針みたいなのも葉っぱなんだね」</p> <p>「この実はどこで見つけたの」</p> <p>○集めたものを元の場所に返す。</p> <p>○振り返り</p>	<p>・屋外に落ちている自然物(木の実、落ち葉、広葉樹の葉、針葉樹の葉、幹片等)を5種類ほど集めて布の上に並べ、もう1枚の布を被せて隠しておく。</p> <p>ちぎる等、採取が必要な物は含めない。</p> <p>・ルール(探す範囲、触るとかぶれる植物、合図を聞いたなら最初の場所にもどる。)を確認する。</p> <div data-bbox="1235 904 1481 1061" data-label="Image"> </div> <p>・発見に共感しながら、いっしょに楽しむ。</p> <p>・1つずつ取り出し、形や色、におい、手触りなど特徴に気付かせながら、同じものが探せたか確認する。</p> <p>「どこからおちてきたのかな？」</p> <p>「落ち葉はこの後どうなると思う？」</p> <p>・自然物には役割があることを伝える。</p> <p>・落ち葉や木の実を、持ち帰る場合は「いただきます」の感謝の気持ちをもてるように促す。</p> <p>・最初の場所に戻り、見つけたものや、楽しかったことを伝え合う。</p>	
安全対策	<p>・保育者同士が連携を取りながら、子どもたち全員を視野に入れておく。</p> <p>・触るとかぶれるような葉についてはあらかじめ見せ、触らないように注意する。</p>	
つながる 絵本・歌	<p>☐『びっくり まつぼっくり』福音館書店 2010</p> <p>☐『ぼくのコレクション 自然のなかの宝さがし』福音館書店 2001</p> <p>♪どんぐりころころ ♪かくれんぼ</p>	
広がる 遊び	<p>・かくれんぼ ・宝さがし ・布あそび</p> <p>・製作あそび ・お店屋さんごっこ</p>	